

## 学生の主体性・創造性，イノベティブな力を 育成するためのワークショップ事業 「即興・自己表現ワークショップ」

国際教育交流センターアドバイザー部門

田所真生子

国際化が加速し、多文化環境下で活躍できる人材の育成が急務となっている。また先の見えない時代において、変化に対応できる能力が求められている。そのような中、様々な状況において臨機応変に対応できる「即興力」を身につけていくことが重要であると考え、平成26年度国立大学改革強化推進補助金の助成を受け、「学生の主体性・創造性，イノベティブな力を育成するためのワークショップ事業」として、「即興・自己表現ワークショップ」を開催した。本事業では、効果的な自己表現，コミュニケーション能力を磨き、勇気を持って行き先の不確実な未来を切り拓いていくための「即興力」を育むことを目的に、即興演劇（インプロ）の手法を用いたワークショップを3回シリーズで行った。講師には、日本全国様々な地域で活動を行い、企業や大学等教育機関，コミュニティでの研修に実績があり、本学とも連携実績のある即興演劇集団「ロクディム」を招聘した。

### 【プログラム内容】

第1回：10月24日（金）16：30～19：30  
名古屋大学中央図書館ディスカバリスクエア（約40名）  
初回は導入セッションとして、ロクディムメンバー6人による即興演劇パフォーマンスを前半に行い、後半は参加者を巻き込んだ体験型ワークショップを行っ

た。

第2回：11月21日（金）16：30～19：30  
名古屋大学大学院国際開発研究科第1会議室（約20名）  
発展セッションとし、ロクディム主宰の2名を講師とし、身体を使うコンタクトインプロヴィゼーションも取り入れながら、即興演劇の手法を用いた体験型ワークショップを行った。

第3回：1月9日（2015年）（金）16：30～19：30  
名古屋大学大学院国際開発研究科第1会議室（約15名）  
シリーズ最後は応用セッションとして、同じくロクディム主宰の2名を講師とし、体験型ワークショップを行った。締めくくりに、講師の助けを借りながら、学生による即興演劇のパフォーマンスも行った。

第1回は、中央図書館内にあるディスカバリスクエアというオープンスペースを利用した。図書館内にありながら声や音を出すことが可能なスペースであるが、これまで様々なセミナーやプレゼンテーションが行われているものの、このようなパフォーマンスやワークショップを行うのは初めてのことであった。第2、3回は、クローズドの空間を作るために、国際開発研究科の会議室を利用した。



本ワークショップには、留学生の他に、学内外の学生、教職員も参加し、立場や垣根を越えて共に学ぶ場となった。また、身体も動かしながら、終始笑顔の絶えないワークショップであった。詳しくは、本紀要の実践・調査報告をご参照いただければと思う。即興演劇の手法による学びを体験することで、自分を信じる

力、相手のことをよく聴き・受け入れ・思いやり、共に協力しあう姿勢、失敗を恐れず勇気をもって行動する力、状況や周囲のことを理解しコミュニケーションすることの大切さを学び、自分の中の創造性に拓かれるきっかけとなったようであった。

